



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社 ニフコ

上場取引所 東

コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）柴尾 雅春

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 最高財務責任者 （氏名）檜原 稔 TEL 03-5476-4853

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	90,888	6.3	12,786	△1.6	13,502	7.2	8,890	△9.6
2026年3月期第1四半期	85,541	△0.7	12,999	9.3	12,593	△11.0	9,831	11.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 9,059百万円（447.4％） 2026年3月期第1四半期 1,655百万円（△89.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	47.73	—
2026年3月期第1四半期	51.64	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（注）当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、2026年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行うことを決議しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算出しています。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	390,111	301,240	76.6	1,603.70
2026年3月期	393,590	299,571	75.3	1,591.70

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 298,690百万円 2026年3月期 296,456百万円

（注）前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	56.00	—	28.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）上述の株式分割の効力発生日は2026年10月1日となるため、2027年3月期（予想）の期末配当金28.00円は株式分割後の1株当たり配当金額を記載しております。そのため、年間の配当予想については単純合計が出来ないため、表示しておりません。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2027年3月期（予想）の1株当たり年間配当金額合計は、112.00円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	367,000	4.1	50,800	5.7	50,000	△2.5	34,000	△0.2	182.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）当社は、2026年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定です。2027年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	100,232,614株	2026年3月期	100,232,614株
2027年3月期1Q	7,106,925株	2026年3月期	7,106,925株
2027年3月期1Q	93,125,689株	2026年3月期1Q	95,198,165株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資がソフトウェア等の知的財産投資や機械投資の増加を背景に堅調に推移しました。製造業では、半導体・AI関連需要を背景に生産活動が底堅く推移したほか、個人消費も持ち直しており、景気は緩やかな回復基調にあります。海外に目を転じますと、中国経済ではインフラ投資の拡大や輸出の増加がみられるものの、不動産市場の低迷や個人消費の停滞が引き続き重石となり、景気は総じて減速しております。欧州経済については、サービス業が景気を下支えする一方、鉱工業生産は低調であり、景気は総じて弱含んでおります。これに対し、英国では、サービス業の伸びや底堅い個人消費を背景に、景気は緩やかに持ち直しております。米国経済においては、個人消費の鈍化がみられるものの、旺盛なAI需要を背景とした設備投資の拡大や底堅い企業活動に支えられ、景気は堅調に推移しております。このように世界経済は各国・地域において回復ペースに差がみられるなか、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや資源価格の動向など、不確実性の高い要因を抱えており、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連市場につきましては、日本市場では、当第1四半期連結累計期間において、対前年同期比で生産台数が上回りました。海外におきましては、当第1四半期連結累計期間の対前年同期比で、米国市場及び中国市場は生産台数が下回った一方、欧州市場及びインド市場は上回りました。

このような事業環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%増の908億8千8百万円となりました。

利益面では、管理可能経費の削減をはじめとする各種施策を推進したものの、物価上昇や人件費の増加などの影響を受け、営業利益は前年同期比1.6%減の127億8千6百万円となりました。経常利益は、円安進行に伴う為替差益の計上などにより、前年同期比7.2%増の135億2百万円となりました。また、法人税等として48億3千2百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比9.6%減の88億9千万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、自動車市場で生産台数及び販売台数が共に好調に推移しており、全体の売上の伸びを牽引し、増収となりました。

海外におきましては、地域ごとに自動車の生産動向に差が見られましたが、円安による為替の影響も寄与し、増収となりました。

この結果、合成樹脂成形品事業全体としては、増収となりました。利益面においては、管理可能経費の削減活動等を継続しているものの、主に物価の上昇や人件費の高騰の影響により、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比6.3%増の815億8千4百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比1.5%減の128億3千1百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては、販売店向けの売上は堅調であったものの、ホテル向けが前年を下回ったことにより、売上高は概ね横ばいとなりました。利益面では、資材価格の上昇等の影響もあり、減益となりました。他方、海外においては、中国本土ではホテル向けを中心に増収となったものの、広告宣伝費等の増加により減益となりました。一方、香港及び台湾市場では売上が伸長し増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比5.8%増の93億4百万円となりました。セグメント利益につきましては、香港及び台湾市場の増益が寄与し、前年同期比5.7%増の14億3千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ34億7千9百万円減少して、3,901億1千1百万円となりました。主な減少要因としては、現金及び預金が39億2千5百万円、有価証券が12億4千万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ51億4千7百万円減少して、888億7千万円となりました。主な減少要因としては、未払法人税等が16億1千3百万円、賞与引当金が22億3千4百万円、繰延税金負債が4億8千7百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億6千8百万円増加して、3,012億4千万円となりました。利益剰余金が23億5千3百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	148,622	144,697
受取手形	1,458	1,398
電子記録債権	6,806	7,939
売掛金	51,750	52,464
契約資産	482	459
有価証券	1,343	102
商品及び製品	28,011	27,381
仕掛品	3,444	3,347
原材料及び貯蔵品	11,276	10,749
その他	13,138	14,400
貸倒引当金	△283	△254
流動資産合計	266,051	262,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,505	52,523
機械装置及び運搬具（純額）	20,777	21,067
工具、器具及び備品（純額）	4,358	4,393
金型（純額）	4,503	4,630
土地	22,130	21,823
リース資産（純額）	47	55
建設仮勘定	6,484	6,166
その他	4,694	4,444
有形固定資産合計	115,503	115,103
無形固定資産	2,024	2,079
投資その他の資産		
投資有価証券	426	268
繰延税金資産	2,099	2,149
退職給付に係る資産	3,992	4,054
その他	3,491	3,767
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,011	10,240
固定資産合計	127,538	127,422
資産合計	393,590	390,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,926	22,316
1年内返済予定の長期借入金	60	60
未払金	6,469	6,454
未払法人税等	6,560	4,947
契約負債	5,704	5,529
賞与引当金	3,766	1,531
その他	12,634	11,733
流動負債合計	57,122	52,573
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	165	150
繰延税金負債	6,202	5,714
退職給付に係る負債	1,767	1,882
その他	3,761	3,550
固定負債合計	36,895	36,297
負債合計	94,018	88,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	—	—
利益剰余金	279,460	281,813
自己株式	△27,888	△27,888
株主資本合計	258,861	261,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	63
為替換算調整勘定	36,874	36,679
退職給付に係る調整累計額	658	732
その他の包括利益累計額合計	37,595	37,475
非支配株主持分	3,115	2,549
純資産合計	299,571	301,240
負債純資産合計	393,590	390,111

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	85,541	90,888
売上原価	58,290	62,862
売上総利益	27,251	28,026
販売費及び一般管理費	14,252	15,240
営業利益	12,999	12,786
営業外収益		
受取利息	293	269
為替差益	—	485
その他	221	154
営業外収益合計	515	908
営業外費用		
支払利息	72	51
為替差損	714	—
その他	134	140
営業外費用合計	921	192
経常利益	12,593	13,502
特別利益		
固定資産売却益	1,143	660
特別利益合計	1,143	660
特別損失		
固定資産除売却損	56	9
投資有価証券評価損	—	159
特別損失合計	56	168
税金等調整前四半期純利益	13,680	13,994
法人税等	3,576	4,832
四半期純利益	10,103	9,162
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,831	8,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	271	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△8,548	△177
退職給付に係る調整額	96	74
その他の包括利益合計	△8,448	△102
四半期包括利益	1,655	9,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,559	8,770
非支配株主に係る四半期包括利益	95	288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,130百万円	3,376百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,748	8,792	85,541	—	85,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	76,748	8,792	85,541	—	85,541
セグメント利益又は損失(△)	13,032	1,360	14,393	△1,394	12,999

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,394百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,584	9,304	90,888	—	90,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	81,584	9,304	90,888	—	90,888
セグメント利益又は損失(△)	12,831	1,438	14,269	△1,483	12,786

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,483百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。